

2024 年度「自然環境を大切にしよう」
ポスターコンクール入選作品決定！
－応募数 4,054 点の中から 51 点が入選－

J Aバンク兵庫は、次代を担う小・中学生が自然環境の大切さを理解すること及び、児童・生徒の図画教育への貢献を目的とし、ポスターコンクールを開催しました。

県内の小・中学校 201 校から 4,054 点の応募があり、審査員長である神戸芸術工科大学 浅場正宏 特任教授をはじめ関係諸団体の協力を得て審査した結果、51 点（金賞 3 点、銀賞 6 点、銅賞 12 点、佳作 30 点）の入選作品が決定しました。

応募いただいた児童、生徒の皆様、ご協力いただきました先生方にお礼申し上げます。



審査風景

入 選 者 一 覧

2024年度「自然環境を大切にしよう」ポスターコンクール 入選者一覧表

敬称略、()内はJA名

賞 名	学年帯	入 選 者									
金 賞 (3点)	低学年	御津小	1年	井田 美音	(兵庫西)						
	高学年	西脇小	5年	竹岡 研人	(みのり)						
	中学生	篠山中	1年	中野 丈一郎	(丹波ささやま)						
銀 賞 (6点)	低学年	久下小	1年	米澤 有真	(丹波ひかみ)	井吹東小	3年	小林 知輝	(兵庫六甲)		
	高学年	石海小	4年	榎谷 美玖	(兵庫西)	母里小	4年	金澤 優人	(兵庫南)		
	中学生	城乾中	1年	森武 龍乃助	(兵庫西)	豊富小中	9年	西田 依	(兵庫西)		
銅 賞 (12点)	低学年	宇仁小	2年	鷹取 遼	(兵庫みらい)	味間小	1年	岡野 丞将	(丹波ささやま)		
		伊保南小	1年	山脇 結心	(兵庫南)	魚住小	2年	西尾 茜音	(兵庫南)		
	高学年	双葉小	6年	齋藤 ねね	(みのり)	河東小	6年	春名 璃胡	(兵庫西)		
		神代小	6年	平野 妃奈乃	(あわじ島)	浜の宮小	6年	中村 彩乃	(加古川南)		
	中学生	鹿谷中	3年	明珍 成真	(兵庫西)	永丘中	2年	吉井 胡桃	(兵庫南)		
		永丘中	3年	西尾 夏月	(兵庫南)	竜山中	3年	澄田 桜	(兵庫南)		
佳 作 (30点)	低学年	吉川小	1年	伊東 香乃	(みのり)	西脇小	2年	藤本 成瀬	(みのり)		
		日吉小	1年	高見 侑李	(兵庫みらい)	御津小	2年	白川 亜衣	(兵庫西)		
		東栗栖小	2年	藤本 祥介	(兵庫西)	白浜小	2年	山下 実莉	(兵庫西)		
		河東小	3年	菅崎 望	(兵庫西)	西神吉小	2年	岸本 權里	(兵庫南)		
		魚住小	3年	汐満 琴羽	(兵庫南)	母里小	2年	外園 麻	(兵庫南)		
	高学年	福田小	6年	中野 陽向	(みのり)	市場小	6年	魚住 紬乃	(兵庫みらい)		
		味間小	5年	荻野 咲莉	(丹波ささやま)	西紀南小	5年	田淵 日咲	(丹波ささやま)		
		石海小	5年	間森 啓翔	(兵庫西)	洲本第二小	6年	庄瀬 哲汰	(淡路日の出)		
		神代小	6年	島田 暖加	(あわじ島)	井吹東小	4年	白石 圭仁	(兵庫六甲)		
		林小	5年	正木 杏佳	(あかし)	米田西小	5年	小川 裕葵	(兵庫南)		
	中学生	四郷学院	8年	北本 真来	(兵庫西)	広嶺中	3年	井口 萌日	(兵庫西)		
		播磨中	1年	岩佐 将吾	(兵庫南)	竜山中	3年	宮崎 莉子	(兵庫南)		
		竜山中	3年	戸崎 愛渚	(兵庫南)	高砂中	1年	南出 詩織	(兵庫南)		
		中部中	1年	長尾 真歩	(加古川南)	中部中	3年	北川 凜音	(加古川南)		
		平岡中	3年	飯田 莓花	(加古川南)	平岡中	3年	高田 真奈美	(加古川南)		

総 評



神戸芸術工科大学 特任教授
浅 場 正 宏 審査員長

「自然環境を大切にしよう」というテーマでのポスターコンクールも3回目となり、4,054点という多数の応募作品がありました。小学校低学年の部、小学校高学年の部、中学生の部という3つの部門で金賞、銀賞、銅賞、佳作など各部門ごとに17の表彰対象作品を選考させていただきました。

学校で先生から、あるいは保護者の方からコンクールに応募してみないかと言われ、よし、やってみようと思っただけで意欲が大切であったと思います。4,054名もの子どもたちが今回のテーマについて一生懸命考えたこと、これがコンクールを実施した大きな成果の一つではないでしょうか。また、描いた本人だけでなく描くことを勧めた人や描くにあたって指導や助言をくださった方を含めると、大変多くの人にポスターコンクールが影響を与えたであろうと考えると、描こうとした多くの若い作者たちに、そしてポスター制作に関わった多くの人たちに感謝したいと思います。また、このコンクールが終了した後も、自然環境保全についての意識が継続され、醸成されていくことを強く望みたいと思います。

ポスター作りに取り組んだ子どもたちがテーマについて、自分自身で試行錯誤を繰り返し考えたことが大事です。そして、自分以外の人々にポスターを通してテーマが強く伝わるように工夫したり考えたりしたことが、自らの中にテーマをより深化させていったのだらうと考えます。

惜しくも金賞に届かず、銀賞となった小学校低学年の作品の中に「いっしょに」というタイトルでポスターを考えました。何を、何と「いっしょに」なのかいろいろ想像させる作品で、「生きる力」を考えさせる、子どもらしくインパクトのある作品だと思いました。このように一見テーマからすると不思議なタイトルも、低学年であるから出てきた発想なのだろうと感心しました。今回のタイトルについてはこのように、驚かせるようなタイトルの作品が多く、審査をしていてハッと気付かされることが多々ありました。

小学校低学年では「自然環境」という言葉だけでも理解が難しいかもしれません。恐らく「何を描い

たらいいの」「どう描いたらいいの」という低学年の子どもたちの素朴な質問が先生や保護者に投げかけられ、戸惑われた方も多いのではないかと思います。そんな時にすぐ答えを示して制作させるのではなく、「いっしょに考えようか」と返して、描く子どもたちの気持ちを大切にしながら、ああでもないこうでもないと自ら考えることを勧めてみてください。ポスター制作を通して考え、工夫する楽しさを経験的に培っていくこともこのポスターコンクールの狙いであると思います。

本年度は「自然環境を大切にしよう」というメッセージが明確に、強く伝わってきたか」「個性的な表現の工夫が見られるか」「細かい部分にまで気をつかい、丁寧に描ききっているか」というような審査基準で受賞者を選考しました。それでも応募された作品は多様であったため、作品の多様性を認めて、単に上手いという作品だけではなく様々な方向で面白く、優れた作品を選考することにしました。

昨今AIが登場し、小学校でプログラミング学習も推進されるようになり、文科省が進めるGIGAスクール構想とも相まって、小学生がAIを使って絵を描く未来がすぐそこに迫っています。すでにインターネット上の図像を参考に絵を描くことが普通になってきています。今回もインターネット上の画像を巧みに取り入れてコラージュし、それを参考に描いたと思われる作品も多く見られました。色鉛筆を使って写真のように描くことが普通に、簡単に作れるようになって、そのような作品が増えることも当然ではないかと思われますし、そうした表現方法を追求し素晴らしい作品が出てくることはいいことだと思います。しかし、皆が同じようにWeb上の写真素材を使って、同じような表現方法をとることで、皆が同じような表現になってしまう可能性もあり、注意を要することでもあります。より面白く、多様で個性的な作品が表れることを強く願います。

森に暮らす動植物、親しく接している動物、虫たち、身近なことに自然を感じるがあります。そこからの子どもらしい斬新な発想が生まれ、生き生きとした作品がうまれることを期待したいと思います。また、このコンクールを通して描かれたポスターが多くの人目に留まり、感動を呼んで「自然を大切にする気持ち」が多くの人に伝わっていくことを切に願います。

最後に、ポスターコンクールを企画準備し、素晴らしい機会を毎年継続して頂いている主催者の皆様方から心から感謝申し上げます。

追伸 毎年、ホームページに入賞作品がアップされています。今年も是非、ご覧ください。

金賞受賞作品と審査評

審査評者 浅場 正宏 特任教授

◆ 小学校低学年の部 金 賞

たつの市立 御津小学校

1年 井田 美音さん



[審査評]

大きな背景となる明るく鮮やかな水色の海に重ねて描かれたクレパスでのドローイングが海を豊かに表現していて好感が持てました。描かれた生き物や環境被害の元になるようなものを細かに一生懸命描いているところが高評価につながったと思います。迫力のある構図が取れていて「海からの SOS」がうまく伝えられています。

◆ 小学校高学年の部 金 賞

西脇市立 西脇小学校

5年 竹岡 研人さん



[審査評]

中央にザリガニが小魚を捕らえるところが描かれていて、迫力のある画面に仕上がりました。ザリガニの表面のぶつぶつも丁寧に描かれていて全体に強さが表現された作品になっています。「逃がさないで外来種」というタイトル文字も大胆にカリグラフィックに描かれメッセージが強く伝わってきました。

◆ 中学校の部 金 賞

丹波篠山市立 篠山中学校

1年 中野 丈一郎さん



[審査評]

先ず「人間の便利は自然の檻」というタイトルが自然と人間との関係を考えさせられる内容で、よく考えられていると感じました。また、タイトルそのままに、生き物を捕らえ、囲む檻が廃棄物の形にできていてコップなどの形をした檻がしっかりと陰影をつけ、立体表現ができていて、中学生として高度な描き方ができた作品でありました。

銀賞受賞作品

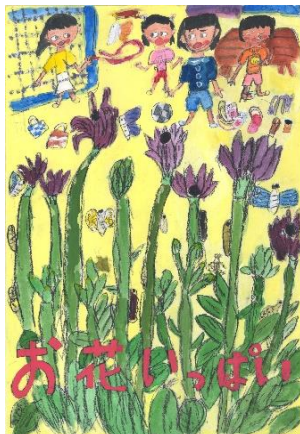
丹波市立 久下小学校
1年 米澤 有真さん



神戸市立 井吹東小学校
3年 小林 知輝さん



太子町立 石海小学校
4年 榎谷 美玖さん



稲美町立 母里小学校
4年 金澤 優人さん



姫路市立 城乾中学校
1年 森武 龍乃助さん



姫路市立 豊富小中学校
9年 西田 依さん



銅賞受賞作品

加西市立 宇仁小学校
2年 鷹取 遵さん



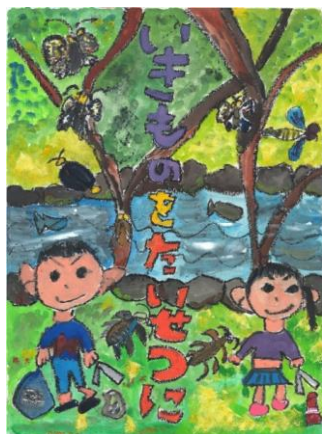
丹波篠山市立 味間小学校
1年 岡野 丞将さん



高砂市立 伊保南小学校
1年 山脇 結心さん



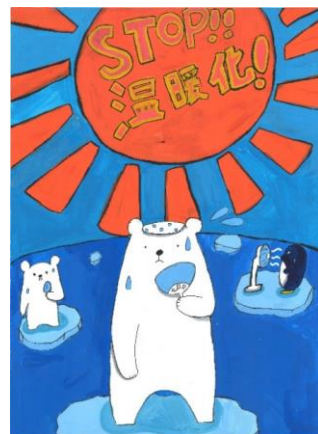
明石市立 魚住小学校
2年 西尾 茜音さん



西脇市立 双葉小学校
6年 齋藤 ねねさん



宍粟市立 河東小学校
6年 春名 璃胡さん



南あわじ市立 神代小学校
6年 平野 妃奈乃さん



加古川市立 浜の宮小学校
6年 中村 彩乃さん



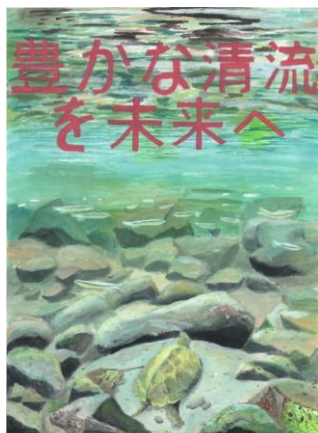
姫路市立 鹿谷中学校
3年 明珍 成真さん



加古川市立 氷丘中学校
2年 吉井 胡桃さん



加古川市立 氷丘中学校
3年 西尾 夏月さん



高砂市立 竜山中学校
3年 澄田 桜さん



佳作受賞作品

三木市立 吉川小学校
1年 伊東 香乃さん



西脇市立 西脇小学校
2年 藤本 成瀬さん



加西市立 日吉小学校
1年 高見 侑李さん



たつの市立 御津小学校
2年 白川 亜衣さん



たつの市立 東栗栖小学校
2年 藤本 祥介さん



姫路市立 白浜小学校
2年 山下 実莉さん



宍粟市立 河東小学校
3年 菅崎 望さん



加古川市立 西神吉小学校
2年 岸本 權里さん



明石市立 魚住小学校
3年 汐満 琴羽さん



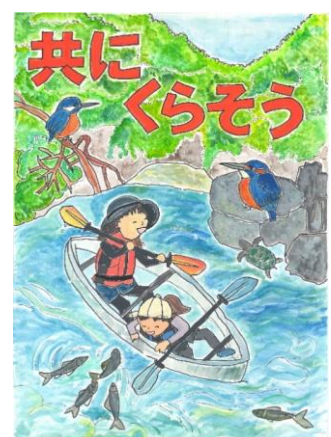
稲美町立 母里小学校
2年 外園 麻さん



加東市立 福田小学校
6年 中野 陽向さん



小野市立 市場小学校
6年 魚住 紬乃さん



丹波篠山市立 味間小学校
5年 荻野 咲莉さん



丹波篠山市立 西紀南小学校
5年 田淵 日咲さん



太子町立 石海小学校
5年 間森 啓翔さん



洲本市立 洲本第二小学校
6年 庄瀬 哲汰さん



南あわじ市立 神代小学校
6年 島田 暖加さん



神戸市立 井吹東小学校
4年 白石 圭仁さん



明石市立 林小学校
5年 正木 杏佳さん



高砂市立 米田西小学校
5年 小川 裕葵さん



姫路市立 四郷学院
8年 北本 真来さん



姫路市立 広嶺中学校
3年 井口 萌日さん



播磨町立 播磨中学校
1年 岩佐 将吾さん



高砂市立 竜山中学校
3年 宮崎 莉子さん



高砂市立 竜山中学校
3年 戸崎 愛渚さん



高砂市立 高砂中学校
1年 南出 詩織さん



加古川市立 中部中学校
1年 長尾 真歩さん



加古川市立 中部中学校
3年 北川 凜音さん



加古川市立 平岡中学校
3年 飯田 蓼花さん



加古川市立 平岡中学校
3年 高田 真奈美さん

